

都民版

都内版編集室
千代田区大手町
1の7の1
読売新聞東京本社内
〒100-8055
電話(3217)1465
1466
FAX(3217)1468
tomin@yomiuri.com

都民版広告
(5226)9925
折込チラシ
0120-03-4343

購読申し込み
0120-4343-81



ユニークないかたで進む参加者13日、狛江市の多摩川で

いかだレースに400人

多摩川を手作りのいかたで下る「狛江古代カップ」第24回多摩川いかだレース（読売新聞東京本社など後援）が13日、狛江市で開かれた。東京、神奈川など5都県から80チーム約400人が参加し、スピードやデザインなどを競い合った。

レースは午前10時に始まり、安全に配慮しつつ、観客らにいかたをじっくり見

てもらったため、5〜7チームが10分おきにスタート。お城やワニの形をするなどユニークないかたも登場し、約1.3キロ川下のゴールを目指した。この日はいかだレースに合わせ、普段は禁じられている河川敷のバーベキューが一部解禁され、出場選手の家族などがチーム関係者が焼き肉などを楽しんだ。

ゴールまでのタイムを競

う「タイムレース部門」一般の部では、これまで12連覇中の「チーム・ラフティ」（狛江市）が敗れる波乱となり、出場11回目の「ハートフルおやじファミリア号」（同）が10分6秒で初優勝を飾った。代表の関谷勉さん（57）は「多摩川の流れにうまく乗り、5人が息を合わせてこけた。これ以上ないくらいうれしい」と喜んでいった。

渋谷教育渋谷正則 3回正則1死3塁、尾崎の内野ゴロの間に生還し、次打者・三浦（左）に迎えられる3塁走者・深田（大田スタジアムで）＝栗原恰里撮影



き「まだまだ追いつける」と奮い立った。

高校がある伊豆大島は昨年10月、台風による大雨で、大規模な土石流災害が発生。死亡、行方不明者は39人に上った。朝、土砂にのみ込まれた家屋の映像をテレビで見ると、「これが大島と信じられなかった」という。

災害発生後の約10日間は、学校全体で復旧のためのボランティア活動を行った。野球



島民勇気づけ



け。避難住民の駐車場となり、くないプレーは出芝生がはがれたグラウンドは、復旧作業が続く島今月になってようやく使える

ピアノ高価買取

買取金額電話で即査定！年中無休
弾かなくなったピアノお譲り下さい

ピアノプラザ
本店 野田市山崎 1604-2
0120-666-484
受付 10～19時
http://www.planoplaza.co.jp

記念のクッキーを贈られた美田昇太郎君（写真左から2人目）

あいがとう
こどもの城 2800万円

デザインやアイデアを審査する「企画部門」では、巨大な猫の飾りを載せた「東京土建多摩西部支部青年部」（昭島市）が最優秀企画賞に輝いた。

【その他】の主要な部門では、ア部の優勝「狛江（狛江市）」▽学部の優勝「イトスカウト狛江（同）△企画部門（同）▽企画部門（同）▽企画部門（同）▽企画部門（同）

「こども」
来場者 2800万人
来場者 2800万人

来場者 2800万人
来場者 2800万人